

編 集 後 記

- 創立90周年記念行事の一環として編纂が始まった『西南学院史紀要』は、今回で第8号になる。第8号発刊のために、ご多忙の中、執筆にご協力いただいた皆様に心より御礼を申し上げたい。
- 百年史編纂委員会は、小林洋一委員長の定年退職に伴い、2012年4月から金丸英子神学部教授を委員長とする新体制となった。これまで百年史編纂のために献身的にお働きいただいた小林委員長に心より感謝したい。百年史編纂については、今後とも、皆様のご支援、ご協力をよろしく願いたい。また、金丸先生には、大変お忙しい中、たまたま原稿をお願いする機会が重なった。新委員長の重責を果たしながらのご執筆に感謝を申し上げたい。
- 「西南学院と戦争」は、西南学院旧制専門学校経済科の卒業生である坂本譲氏の申し出を機に検討が始まり、常任理事会のもとに松見俊大学宗教部長を委員長とする「西南学院と戦争」検討委員会が設置され、西南学院と戦争をどのように考えるかについて検討が行われた。当委員会の答申を受け、常任理事会において検討された結果、2013年に西南学院学徒出陣戦没者追悼記念式が開催されることになった。
- 金丸委員長は、2012年、南部バプテスト歴史図書館を訪問され、西南学院関係の貴重な資料を持ち帰られた。同図書館にはまだ多くの西南学院関係資料が保管されているので、今後も資料収集に同図書館を訪問することになると思われる。
- 西南学院大学の歴史の中でも重要な時期にご活躍された後藤泰二先生による追想、西南学院旧制専門学校経済科卒業生の榎田裕一氏への聞き取り調査などは、その頃を知らない世代にとっては大変貴重な証言である。今後とも、このような証言が収集されることを期待したい。
- 学院史の資料には、多くの英文資料や古文書などが存在するが、まだ翻訳されていないものも多い。そこで、元高等学校教諭の鶴身淳一郎氏及び九州大学大学院生の赤司友徳氏に力を借りることになった。第8号では赤司氏に『学院沿革簿』の解説を執筆いただいた。
- 事務局職員は、毎年夏季休暇中に一泊二日で修養会を開催している。2010年度から始まり創立100周年の2016年度まで、西南学院の歴史について知ってもらいたいという目的で講演をお願いしている。2012年度は金丸委員長に「西南学院創立前後のエピソード」と題してご講演いただいた。貴重なお話をしていただき感謝している。

(大杉晋介)

2013年5月8日 印刷

2013年5月15日 発行

編 集 西南学院百年史編纂委員会

発 行 学校法人西南学院

〒814-8511 福岡市早良区西新6丁目2番92号

印 刷 福岡印刷株式会社

〒810-0001 福岡市中央区天神3丁目4番3号